相模原市立男女共同参画推進センター（愛称：ソレイユさがみ）

Soleil Newsletter
ソレイユニュースレター

No.70
3. 7.15.

ソレイユニュースレター　発行日:令和３年７月１５日　発行部数:１１００部　発行人:石井 トシ子　編集製作:情報委員会
発行所:相模原市立男女共同参画推進センター　〒252-0143 相模原市緑区橋本 6-2-1（シティ・プラザはしもと内）　TEL：042-775-1775

ソレイユフェスタ 2021
～みんなが輝く、未来に向けて　負けない自分をつくろう！～

さがみはら男女共同参画推進週間を中心に６月１９日（土）～２７日（日）まで開催しました。
コロナ禍の中ではありましたが、感染防止対策を徹底し無事に終えることができました。一部講座の内容を紹介いたします。

さがみはらいきいきフォーラム 2021
JAXA から学ぶ Rikejo のススメ

６月 19 日（土）13：30 より『働き方の変革』と『女性活躍』の取り組みを軸に、JAXA の女性研究員３名と、コーディネーター１名をお迎えし、パネルディスカッションが行われました。「JAXA で働くきっかけは、半分の人は宇宙への探求心であるが、もう半分は、アンテナ、電池、飛行機などの興味から、JAXA に繋がる人もいる。」とのこと。興味には、性差はなく、知識や技術の上では、対等であること、制度や組織風土が整っていれば、女性もライフステージに合わせて、活躍できることを伝えられたことは、これからの女性の進路選択をしていく中で、ひとつのきっかけとなりました。

JAXA・総合就職
支援センターとの共催

パネルディスカッション
大学生の身近に潜むジェンダー問題

６月26日（土）に開催されたパネルディスカッションは桜美林大学の先生と学生３名が登壇しました。大学生からみる『学び』『職』『暮らし』とジェンダーについて、事前のアンケート結果を分析しジェンダー・セクシュアリティ問題を討論しました。学生の鋭い視点や、香港からの留学生による香港社会と日本社会の比較等、たいへん興味深く聴講することができました。「各々が自分の意見を発し、違いを認め合うことができて、ジェンダーを個性として考える」ということが心に残りました。

性教育、ジェンダー問題の教育は必修にすべきかの問いに、96%の学生がすべきで早ければ早いほどいいと回答していました。これから様々に変化する社会に向けて、声をあげていく若いエネルギーを感じました。

《男女共同参画川柳コンテスト 2021》
募集のお知らせ !!

家庭や職場、学校、地域など身近な暮らしの中で、何気なく感じる「女だから…男だから…」といった決めつけに対し、「おかしい、へんだ、こうだったらいいのに…」と感じたことなど、身の回りに存在するジェンダーに気づいたら、あなたの思いを川柳にして応募してみませんか？

【ジェンダーとは？】
「女らしさ」「男らしさ」といった社会的・文化的に形成された男女の違いのことを言います。

詳細は８月に配架しますチラシか HP をご覧ください。
ご応募お待ちしています !!

（昨年の各部、グランプリ作品です!）

夏休み子ども向け講座案内!!

■橋本七夕まつり　夏休み特別企画

「コドモものづくりチャレンジ講座」

～変形ゴマづくりで重心の見つけ方を学ぶ～

1．日時　令和３年８月 11 日（水・祝）
　【午前コース】午前 10 時から正午まで
　【午後コース】午後１時 30 分から３時 30 分まで
2．会場　ソレイユさがみセミナールーム１
3．内容　・講演　ものづくりの不思議や楽しさのお話
　　・ものづくり体験（変形ゴマづくり）
4．講師　土井　康作さん（一般社団法人ものづくり文化振興協会理事長・鳥取大学名誉教授）

「のりんごさんといっしょにおどろう!!
子どもヒップホップダンスチャレンジ講座」

1．令和３年８月 13 日（金）
　【午前コース】午前 10 時 30 分から正午まで
　【午後コース】午後１時 30 分から３時まで
2．会場　ソレイユさがみセミナールーム１
3．内容　ヒップホップダンス実演と初心者体験指導
4．講師　前山　善憲さん（のりんご・ヒップホップダンス指導者）

対　象　小学生とその保護者各 10 組
共　催　一般社団法人ものづくり文化振興協会・橋本公民館
参加費　無料
保　育　２歳以上未就学児まで（要予約・無料）

新職員紹介および研修報告

今年度、ソレイユさがみに入社しました重泉千寿子です。よろしくお願い致します。ソレイユでは初めて携わる事ばかりで、刺激的な日々を送っています。先日、NWEC の研修を受けました。男女共同参画について深く考えるとても有意義な機会となりました。他人ごととせず、無意識の偏見と思い込みがある事に気づく、自分の行動から変えていくことが大事だと感じました。

ソレイユさがみ　事務員　重泉　千寿子

今年度、ソレイユさがみに入社しました戸塚理仁です。男女共同参画推進事業に携わり、自分が持てる最大限の力を発揮できるように邁進して参りますので、よろしくお願い致します。先日の NWEC の研修では、世界に比べて遅れる日本のジェンダーの課題を考えられたこと、また男女共同参画推進事業に関わっていくうえで、大事な考え方の土台作りのキッカケとなりました。

ソレイユさがみ　事務員　戸塚　理仁

ソレイユさがみ登録団体 PR コーナー

パラボラ相模原　代表　山口　恒雄

パソコンやスマホなどで困ったことが起きた時に、身近にサポートしてくれる人がどんなに心強いか、一般に提供されている電話サポート、サポートセンター、マニュアル本などのサービスを容易に理解することができない障がい者、高齢者にとってはなおさらのことです。

そこで私たちの団体は、パソコン操作の指導を通じて、障がい者と高齢者の情報バリアフリー実現を支援するとともに、社会参加の自立の促進に寄与することを願って日々のサポートをしております。

萬葉を詠む　代表　中城　宏道

萬葉を詠む会は、H24 年に発足以来お世話になった呉先生が病気のため、昨年９月より教え子でもある青柳まや先生をお迎えすることになりました。先生は、二松学舎大学他講師を勤める新進気鋭の文学博士です。その若い先生のセンスで更なる発展を期待しています。青柳先生より「この講座では、『万葉集』の歌を通じて古代人の世界観を見つめると共に『古事記』『日本書紀』等他の上代文献とのつながりを丁寧に見てゆくことで、皆さんに広く上代文学の世界に親しんでもらえることを目指しています。」とのコメントを頂いています。この会は、男女がともに豊かな人生を目指すため日々学んでいます。

編集後記

ソレイユフェスタ 2021 開催期間中は、コロナ禍の中、各講座やパネル展、手作り品販売のプチマルシェにご参加くださいました皆様ありがとうございました。ここで、学び経験されたことを今後の生活やスキルアップに活かして頂ければと願っています。また、９月には男女共同参画川柳コンテスト 2021 の作品募集をします。多くのご応募をお待ちしています。　（湯田・渡邉）